

【記載例】

令和 年寄附分 市町村民税 道府県民税 寄附金税額控除に係る申告特例申請書

1	令和 年 月 日	整理番号	2	3	6
	小浜市長 殿	フリガナ			
住所	〒	氏名	4	5	7
	4	個人番号			
電話番号	5	生年月日	6		

- 1. 申請日を記入します
- 2. 氏名、フリガナを記入します
- 3. マイナンバーを記入します
- 4. 住所を記入します
(住民票のある住所)
- 5. 日中連絡のつく番号を記入します
- 6. 生年月日
- 7. 寄付をした日付と金額を記入します
- 8. 確定申告をしないことの確認にチェックを付けます
- 9. 寄付先が5自治体以内である確認にチェックを付けます

「個人番号」欄には、あなたの個人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条第5項に規定する個人番号をいう。）を記載してください。 ※以下の①、②のいずれか類も必要です。①個人番号カード表・裏の写し ②通知カードの写し及び本人確認できるもの（運転の顔写真付きのもの）の写し

あなたが支出した地方団体に対する寄附金について、地方税法附則第7条第1項（第8項）の規定附金税額控除に係る申告の特例（以下「申告の特例」という。）の適用を受けようとするときは、下記の要な事項を記載してください。

- (注1) この申請書は、申告特例対象年の翌年の1月10日までに提出してください。また、上記に内容に変更があった場合も、同日までに申告特例申請事項変更届出書を提出してください。
- (注2) 申告の特例の適用を受けるために申請を行った者が、地方税法附則第7条第6項（第13項）いずれかに該当する場合には、申告特例対象年に支出した全ての寄附金（同項第4号に該当する寄附金）は、同号に係るものに限る。）について申告の特例の適用は受けられなくなります。その寄附金税額控除の適用を受けるためには、当該寄附金税額控除に関する事項を記載した確定申告書（市町村民税・道府県民税の申告書）を提出してください。

1. 当団体に対する寄附に関する事項

寄附年月日	寄附金額
7 令和 年 月 日	円

2. 申告の特例の適用に関する事項

申告の特例の適用を受けるための申請は、①及び②に該当する場合のみすることができます。①及び②に該当する場合、それぞれ下の欄の口にチェックをしてください。

①地方税法附則第7条第1項（第8項）に規定する申告特例対象寄附者である 8

(注) 地方税法附則第7条第1項（第8項）に規定する申告特例対象寄附者とは、(1)及び(2)に該当する者をいいます。
 (1) 地方団体に対する寄附金を支出する年の年分の所得税について所得税法第120条第1項の規定による申告書を提出する義務がない者又は同法第121条（第1項ただし書を除く。）の規定の適用を受ける者
 (2) 地方団体に対する寄附金を支出する年の翌年の4月1日の属する年度分の市町村民税・道府県民税の申告書の提出（当該申告書の提出がされたものとみなされる確定申告書の提出を含む。）を要しない者

②地方税法附則第7条第2項（第9項）に規定する要件に該当する者である 9

(注) 地方税法附則第7条第2項（第9項）に規定する要件に該当する者とは、この申請を含め対象年の1月1日から12月31日の間に申告の特例の適用を受けるための申請を行う地方団体の数が5以下であると見込まれる者をいいます。

※小浜市では、申請書の一番下についている「受付書」の返送をしております。受付書の返送をご希望の方は、切手を貼った返信用封筒を申請書とともに送付くださいようお願いいたします。

尚、受付状況はメールやお電話でご確認いただけます。

TEL : 0770-64-6008 (小浜市役所 未来創造課) Mail : furusato@city.obama.lg.jp

令和 年寄附分 市町村民税 寄附金税額控除に係る申告特例申請書
道府県民税

第五十五号の五様式（附則第二条の四関係）

令和 年 月 日 殿	整理番号	
住 所	フリガナ	
	氏 名	
電話番号	個人番号	
	生年月日	明・大・昭 平・令

「個人番号」欄には、あなたの個人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条第5項に規定する個人番号をいう。）を記載してください。

あなたが支出した地方税法第37条の2（第314条の7）第2項に規定する特例控除対象寄附金（以下「特例控除対象寄附金」という。）について、同法附則第7条第1項（第8項）の規定による寄附金税額控除に係る申告の特例（以下「申告の特例」という。）の適用を受けようとするときは、下の欄に必要な事項を記載してください。

- (注1) 上記に記載した内容に変更があった場合、申告特例対象年の翌年の1月10日までに、申告特例申請事項変更届出書を提出してください。
- (注2) 申告の特例の適用を受けるために申請を行った者が、地方税法附則第7条第6項（第13項）各号のいずれかに該当する場合には、申告特例対象年に支出した全ての寄附金（同項第4号に該当する場合にあっては、同号に係るものに限る。）について申告の特例の適用は受けられなくなります。その場合に寄附金税額控除の適用を受けるためには、当該寄附金税額控除に関する事項を記載した確定申告書又は市町村民税・道府県民税の申告書を提出してください。

1. 当団体に対する寄附に関する事項

寄附年月日	寄附金額
令和 年 月 日	円

2. 申告の特例の適用に関する事項

申告の特例の適用を受けるための申請は、①及び②に該当する場合のみすることができます。①及び②に該当する場合、それぞれ下の欄の□にチェックをしてください。

① 地方税法附則第7条第1項（第8項）に規定する申告特例対象寄附者である	<input type="checkbox"/>
--------------------------------------	--------------------------

(注) 地方税法附則第7条第1項（第8項）に規定する申告特例対象寄附者とは、(1)及び(2)に該当すると見込まれる者をいいます。

- (1) 特例控除対象寄附金を支出する年の年分の所得税について所得税法第120条第1項の規定による申告書を提出する義務がない者又は同法第121条（第1項ただし書を除く。）の規定の適用を受ける者
- (2) 特例控除対象寄附金を支出する年の翌年の4月1日の属する年度分の市町村民税・道府県民税について、当該寄附金に係る寄附金税額控除の控除を受ける目的以外に、市町村民税・道府県民税の申告書の提出（当該申告書の提出がされたものとみなされる確定申告書の提出を含む。）を要しない者

② 地方税法附則第7条第2項（第9項）に規定する要件に該当する者である	<input type="checkbox"/>
-------------------------------------	--------------------------

(注) 地方税法附則第7条第2項（第9項）に規定する要件に該当する者とは、この申請を含め申告特例対象年の1月1日から12月31日の間に申告の特例の適用を受けるための申請を行う都道府県の知事又は市町村若しくは特別区の長の数が5以下であると見込まれる者をいいます。

（切り取らないでください。）

令和 年寄附分 市町村民税 寄附金税額控除に係る申告特例申請書受付書
道府県民税

住 所		受付日付印
氏 名	殿	

受付団体名	
-------	--